

地震を体験したことはあるけれど、巨人に家を奪了上げられたことはないかつて、そんなにやられたもののかと思つて驚きました。人々が作った大切なものと、地震等の自然災害によつて一瞬で壊されてしまうのだからとありました。地震のおそろしい所は、地震だけじゃなく、その後の二次災害もおそろしい所だと思いました。実際に地震が起きたら、どれだけ落ち着いて行動し、情報を集められるかが大切だと思うので、その情報を出して下さる新聞社の方はありがたい存在だと思いました。

震災を体験した方の話を聞けたのはちごく貴重な経験だ、たとえいります。神戸新聞社、メディアとしての責任を果たすために複数回にわたりお聞きしました。阪神・淡路大震災の名称の理由も初めて知りました。淡路島に入れば、たくさんの62人のことが忘れていました。彼らの死の理由は、その通りだと見てきました。最近でも東京で地震が起きたソ水道がこわれたところをみるとあたかもこれはまたある手元ではなかなか付かなくなってしまいました。

私は大きい地震を経験したことがないのです。
経験した人から話を聞いたら何うのはどうぞ
大切なことだと心に留めました。当時の写真を見
ると、本当にこんなことが起きたのかと分か
らなくなってしまったくらいでした。もし、
自分がこういう災害にあってたらどうするのか
と考えさせられました。大きいや災害の備えは
今日からでもいいからして、しっかりと備えよう
と思いました。災害について知ることは自分
の身を守ることにもつながるところ分かりました。

私はあまり大きい地震を経験したことがない
ません。「平成」の時代は災害の時代といふ
こしあり初めて知りました。私は、平成17年に
生まれて、今までこんなにたくさん災害が
起きていたことを知りませんでした。経験し
なくとも、過去の写真を見るだけで恐しさが
伝わってきました。これからも、いつも何が
起こるか分からぬので、日頃からきちんと
用意して備えておきたいです。おひたまつて災
害について知れてとても良かっただと思します。

話を聞くと、やつぱり災害って怖いものだな
と思いました。地震では、阪神高速道路が完
全に倒れてしまっていて恐しいことだと思
いました。そんな中でも、新聞を作らなければ
いけなくて、懸命に動いてがんばったと聞き
神戸新聞の川かさんは周りのことを考え本当に
すばらしいなと思いました。阪神、淡路大
震災の淡路が付いている理由、大きさもよく
分かり、考えが深まりました。この大震災の
ことは忘れずに、次の世代へ受け継ぐこと
が大切になっていくと知ることがよく出来て、すごく良い機会に
なりました。私自身も忘れないに、今後も災害に気をつけていきたいなと思います。

災害時の状況を体験した人々から聞くことがで
きて、日頃の備えや、いつかという時にどうす
るべきのかを考えさせられました。地域の
新聞にかられてきてることで、地域新聞にし
かで好きな住民や県民に寄り添う姿勢がある
ということが分かりました。震災を風化させ
るためにも、教訓をいかにして引きたいと思
いました。南海トラフをくるといわれている
ので、それに対する備えも必要に行なうと思
ました。